

紙芝居による保育園児への環境推進事業

取組に至る背景・事業の目的

環境問題は、小さな頃からのかかわりが必要であると考え、紙芝居を用いて、子どもたちに環境の大切さを楽しみながら無理なく理解させ、自然と環境にやさしい行動ができるようにする。

事業内容

- 6～9月 伊那市保育園園長会に協力依頼、
会員による内容検討
- 10月 環境紙芝居が完成。(3作)
「でんきをだいにしないのだからあれ」
「どうしてみずがなくなったのかな」
「みんなでへんしん！りさいくるせんし」
- 11～2月 15保育園(約1,000人)で上演



【紙芝居上演の様子】

事業効果

- 15保育園の先生からは、話の内容、上演方法等全体的に良かったと好評であった。
(保育園先生からの感想)
「これからの時代にとっても大切なエコの話をつかり易く紙芝居にしてくれた。」
「迎えに来た親に電気を消す、テレビを付けっ放しにしない等一生懸命話す子供の姿があった。」
- お家の人に配布したチラシから、紙芝居をみて大変良かったという感想が90%以上であり、家に帰ってからも子供たちからよい影響をうけている様子が見える。
(お家の人からの感想)
「『エコ』という言葉が紙芝居で理解し、『エコ！！エコ！！』と言いながら水を止めたり、電気を消してくれる。」
「リサイクルの必要性、大切さを家族みんなで再確認した。」

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 身近なことで子どもたちが取り組みやすいように、電気や水を大切に使うこと、リサイクルの必要性をわかってもらうことの内容とした。子どもたちに理解してもらえるよう、会の検討会を重ねストーリーやキャラクター、色、言葉遣い、人物の名前などを一から決めていった。
- 紙芝居の上演だけで終わらせないように、チラシを配布して家の人に興味を持ってもらい、家で環境に良いことが実行できたら子どもたちが塗り絵をしたり、家の人から感想を書いてもらう仕組みを作った。
- 今後は今年度に上演できなかった保育園や幼稚園での上演や、家の人たちにも見て頂けるようにするなど、更に上演範囲を広げていく。また、地域での環境に関する活動にも積極的に親子で参加してもらえるように声かけをしていく。

【選定のポイント】

紙芝居を使用して環境教育を行った事業で、子どもの興味をひくよう紙芝居の作成・上演に工夫を凝らしており、子どもにもわかりやすく、また、子どもを通して効果は家庭にも広がっていった。

団体名 伊那商工会議所女性会 (伊那市)	事業タイプ ソフト事業
連絡先 電話 0265-72-7000	事業費 733,160円
	支援金額 604,000円